

第 4 回 定 例 会

市 長 行 政 報 告

令 和 元 年 1 1 月

北 広 島 市

令和元年第4回定例会の開会にあたり、行政報告を申し上げます。

1 福祉人材確保対策事業について

まず始めに、福祉人材確保対策事業についてであります。市内福祉施設等の人材確保対策として昨年7月から就労支援金の交付を行っておりますが、本年度につきましては新規就労者58人に助成を行い、制度開始からこれまでに106人に助成を行ったところであります。

本年度の内訳につきましては、介護事業所が29人、障がい福祉事業所が9人、保育所等が20人であり、このうち9人は市内事業所への就労に伴い、市外から転入されており、定住促進にも一定の効果があったものと捉えております。

なお、現在においても、就労支援金に関する問い合わせが多く寄せられており、引き続き福祉人材確保に向けた取組を推進する必要があることから、本定例会において必要な経費の補正予算を提案させていただいたところであります。

2 福祉灯油特別対策事業について

次に、福祉灯油特別対策事業についてであります。現在においても灯油価格が高止まりしており、冬季間における暖房等の使用が家計を圧迫する大きな要因となるものと考えております。

このことから、高齢者や障がい者、ひとり親家庭の市町村民税非課税世帯及び生活保護世帯に対し、経済的な負担の軽減を図るため、灯油等の購入費の一部を支援することといたしました。

なお、本定例会において必要な経費の補正予算を提案させていただいたところであります。

3 プレミアム付商品券発行事業について

次に、プレミアム付商品券発行事業についてであります。対象者につきましては、住民税非課税者と子育て世帯で約11,500人と推計しており、11月18日現在、50.6%の申請となっているところであります。

このうち商品券購入引換券につきましては、5,158人へ交付しているところであります。商品券の販売につきましては、1月31日までを販売期間としており、平日は市内郵便局8か所において、休日は販売期間中、月1回特設窓口を開設して受け付けており、1冊あたり5,000円分の商品券を13,650冊販売したところであります。

商品券の使用につきましては、2月29日までを使用期間としており、市内の登録事業所161か所で使用された商品券のうち、総額1,537,000円分が10月分として換金されたところであります。

4 子ども夢チャレンジ応援事業について

次に、子ども夢チャレンジ応援事業についてであります。次代を担う子どもたちが懐く夢の実現に向けたチャレンジを応援する取組として平成28年度から実施しているものであり、今年度は、応募をいただいた374件のうち3件のチャレンジについて支援を決定し、本人やサポートをいただく関係者の皆様と調整を進めてきたところであります。

このたび、パティシエを目指す大曲東小学校5年生の^{ありやましずき}有山寧希さんが、お菓子づくりについて勉強するため、11月21日から23日まで東京都渋谷区の「服部栄養専門学校」を訪問したほか、東京都三鷹市の「米粉のお菓子屋リリアン」では、アレルギーに対応したお菓子づくりを学んだところであります。

また、テレビの放送関係の職を目指す西の里中学校2年生の^{なみさもえ}波佐萌さんは、8月27日、28日に「札幌テレビ放送株式会社（STV）」を訪問し、アナウンサーの体験や制作技術について学んだところであります。

また、海洋生物（アザラシ）の研究者を目指す広葉中学校2年生の^{いしざき}石崎^{りゅう}龍さんは、9月1日、2日に「登別マリンパークニクス」を訪問し、水族館における海洋生物の飼育体験をしたほか、9月22日から27日まで紋別市の「とっかりセンター」や網走市の「東京農業大学オホーツクキャンパス」では、アザラシと人間の共生について、保護施設での飼育体験や大学での講義・研究に参加するなど、チャレンジを実現したところであります。

なお、令和2年2月に芸術文化ホールにおいて、チャレンジ報告会を実施することとしております。

5 子ども会議について

次に、子ども会議についてであります。子どもの権利条例に基づく子どもの参加を促進するための取組として昨年度から実施しているものであり、今年度は令和2年1月10日に開催を予定しております。

小学4年生から高校3年生までの子どもを募集し、「私たちが考えるボールパークと将来のきたひろしま」をテーマに意見交換を行い、子どもの視点から考えるアイデアや意見を提案していただくこととしております。

なお、会議開催後には、市ホームページや「子どもの権利ニュース」にこの取組を掲載し、学校や地域に周知してまいります。

6 道央廃棄物処理組合の焼却施設建設工事について

次に、道央廃棄物処理組合の焼却施設建設工事についてであります。組合におきまして9月30日に焼却施設建設工事に係る制限付き一般競争入札を行い、116億3,800万円で日立造船・五洋建設・丹波組特定共同企業体が落札し、11月15日に行われました道央廃棄物処理組合第2回定例会におきまして、議決されたところであります。

今後につきましても、令和6年度の焼却施設稼働に向けて、道央廃棄物処理組合の構成団体とともに事業を推進してまいります。

7 北海道日本ハムファイターズ・ボールパーク構想の推進について

次に、北海道日本ハムファイターズ・ボールパーク構想の推進についてありますが、9月14日にファイターズ市民応援ツアーを開催し、200名の参加者とともに、札幌ドームでファイターズに熱い声援を送ってきたところでもあります。

10月4日、7日及び16日には、「オール北海道ボールパーク連携協議会」に基づく、第1回目となる各分科会を開催し、参加された各市町村からは、それぞれのまちの課題や取組等について意見が出されたところでもあります。

本分科会を通じて、圏域市町村との連携を深めていくとともに、ボールパークを活用した取組について検討を進めてまいります。

11月16日、19日及び22日には、ファイターズとのパートナー協定に基づく学校教育との連携事業を実施し、市内小中学校の児童・生徒たちにファイターズアカデミーコーチによる体育授業やキャリア教育授業を行っていただいたところでもあります。本事業につきましては、来年度も継続して行うこととし、昨年度からの3か年で市内の全小中学校で実施する予定となっております。

また、10月より、ボールパーク建設予定地において粗造成工事に着手しているところではありますが、2023年のボールパークの開業に向けては、これからも様々な工事がスタートすることになります。工事期間中におきましては、市民の皆様にはご不便をお掛けいたしますが、事故の無いよう万全を期してまいります。

今後につきましても、2023年開業に向け、各種整備を進めるほか、市民の皆様やボールパーク推進期成会とともに、さらに機運を高められるよう、引き続き球団や関係機関との協議を進めてまいります。

8 令和元年7月から令和元年9月までにおける寄附について

次に、令和元年7月から令和元年9月までにおける寄附についてありますが、現金による寄附につきましては個人・団体などから11件、3,830,707円、物品の寄附につきましては団体からおもちゃの寄附1件となっているところであります。

「ふるさと納税」につきましては、7月から9月までの3か月間で、535件、12,640,000円の寄附をいただいているところであります。

ご寄附をいただきました皆様に心から感謝を申し上げるとともに、本市のまちづくりのため、大切に活用させていただきたいと考えております。

なお、本定例会において「ふるさと納税」寄附金の増加に伴う必要な経費の補正予算を提案させていただいたところであります。

以上申し上げ、行政報告といたします。